

12月定例会 一般質問



12月9日～11日の3日間にわたり、12名の議員から市政に対する一般質問が行われました。質問の一部を抜粋しての掲載で、内容は各議員において編集しております。掲載の順番は質問順です。正副議長につきましては、任期中は申し合わせにより一般質問は行わないこととしております。

行政のデジタル化について



吉越利明議員

農業者の持続化給付金の周知を積極的に



飯田健一議員

取組と今後の進め方は。スマートフォン等を活用した新たな行政サービスとして、2月から緊急情報として避難情報、火災情報、停電情報など、市民向けのメール配信サービスを予定している。また、電子決済による納税は、令和3年度課税の固定資産税等で対応すべく準備を進めている。

問 公共施設でのエネルギーコスト削減についての考えは。

答 飯山市地球温暖化防止実行計画では施設エネルギー消費量と、温室効果ガス発生量は密接な関係にあり、今後新設する公共施設においても脱炭素に配慮しながら目標達成に向け取組んでいきたい。

問 公民連携推進への取組について

答 使われていない市有地や学校統合などで空いてくる施設の活用など、公民連携で積極的に進めるべきと思うが。行政と民間が知恵を出し合う公民連携の手法が有効と考える。今後はこの手法を積極的に活用していきたい。

問 市報11月号に、持続化給付金の説明に添え書きがあり、この記述を読んだ一部の農業者は委縮してしまう懸念があるので、こういうような記述はあまりよくないと思うがいかがか。

答 この制度はコロナ感染症拡大により、大きな影響を受けている事業者に対して事業の継続を支えるために支給するもので、対象となる事業者の説明として、必要なことを記載している。

問 地区を回っているとよく知らない方が圧倒的に多い。再度農家の立場に立つて周知、相談申請サポートすべきと思うがいかがか。

答 どういう原因で減ったかということが、今回の持続化給付金の対象となるのである。例えば、農閑期で収入がゼロの月と年間収入を12か月で平均した収入と比較して50%減となったという理由では、この制度の趣旨にはあたらないと理解している。そのことも踏まえ広報11月号で制度について案内させていただいた。

小学校統合に対する通学路の安全確保について



石田克男議員

問 城北中学校区統合小学校の建設候補地が、城北中学校グラウンドの南側であることが示された。現在、中学生が通学している上水沢区から城北中学校登り口までの県道と歩道が狭くて危険である。県に拡幅の要望をお願いしたい。

答 北信建設事務所を確認した所、(主)上越飯山線の車道については改良済だが、歩道については小学校が統合され歩行者が増加し拡幅の必要性が高まれば、整備事業の導入を検討したいとの事。市でも引き続き強く要望していきたい。

問 城北中学校登り口から戸狩区へ下りる道路は歩道もなく、冬季は急な坂道で安全な登校が出来ない状況。現在建設中の「老人ホーム」が完成すると今の何倍もの交通量になり、事故が懸念される。歩道設置や安全対策をどのように考えているのか。

答 城北中学校周辺の交通事情は大きく変わると考えている。歩車道の分離や、冬期交通の安全対策について、国の交付金の活用を含めて検討したい。

地域医療構想と新たな学校づくりに関して



渡辺美智子議員

問 飯山日赤が再編、統合の対象になっている。地域医療と公立、公的病院を守る連絡会は、厚労省へ再編統合の白紙撤回を求めた。この中で厚労省として、今後の医療構想の進め方は、長野県が決めたことに「それはだめ」という事にはならないと示した。市長は県に日赤の存続の重要性を示すべきではないか。

答 北信医療圏内の会議で「これはおかしい」と主張してきたが、さらに強調していく。

問 新たな学校づくりについての説明会が小学校区ごとに行われたが、そこで出された主な意見は。

答 適正規模・人数について、地域と学校のつながり、ふるさと学習の取り組み強化。建設位置について、統合後の通学方法、子どもの心のケア、児童クラブの施設位置等です。

問 城北区では統合時の3年生は34人になる。1クラスか。

答 適正規模かどうか判断し市で加配をつけるなどして柔軟に対応。子どもたちが最適なクラス規模で学習していけるよう配慮したい。

千曲川の国一元管理への要望



高山恒夫議員

問 国への要望活動は。10月13日関係首長とともに、赤羽国土交通大臣に直接会い強く要望した。

答 国を納得させるには。理論的部分は根拠を示していくと同時に、県とも意見交換し粘り強く進めていく。また、議会とも連携を図り進めていく。

問 よりよい教育とは。

答 AIの展開や英語、プログラミング学習などへの対応も含め、教育環境を整え、子どもたち一人一人の可能性をさらに伸ばしていくことにある。

問 一貫した食育教育をどう進めるか。

答 統合小学校でも自校給食を継続していく。

問 農業施設の維持

答 市単土地改良事業は継続か所が多く、協働のむらづくりに事業は工事年数が長くなっているのが実態ではないか。水路設備は山間地域から平野部の小水路まで改修すべき箇所が多いが国県の補助制度もなくなってきた。新年度予算の中で検討したい。

政治姿勢と2021年度予算編成について



小林喜美治議員

問 安倍首相が病気を理由に辞任し菅内閣が誕生した。菅内閣は自助・共助・公助を掲げることさら自助を強調している。新型コロナ対策では政治的責任も問われるが、自己責任だけでは安心して暮らしていけない。普政権についての見解を。

答 自助・共助・公助は健全な民主主義社会を維持するのに必要なこと。新型コロナの1次、2次補正は、国の緊急経済対策は一定の評価ができるものである。自助・共助・公助は自己責任を押し付けるものではないと考える。

問 予算編成方針について

答 予算編成方針では国政調査による地方交付税への影響、新型コロナによる市民税の減出削減をはかることあるがどのようになるのか。

答 国勢調査による国の算定基準、基準財政需要額によって影響が見込まれること、新型コロナウィルス感染症による市税などの減が予想され、どのくらい影響するのかについては今のところ把握していない。

次年度予算編成並びに学校づくりに関して



佐藤正夫議員

問 小学校再編の市内での説明会では、様々な意見が出たが概ね了解されたと聞いた。城北中学管内では新築位置を進めることが大切と考える。

答 各地区からの多くの意見も踏まえ通学方法等を同時進行で検討し子ども達を第一に考えて着実に積み重ねていきたい。

問 コロナ対策定額給付から外れた4月28日以降に生まれた子どもへの出産特別給付金の支給予想額ほどの位か。次年度もそれ以降も続けて欲しい。

答 年度末で900万円程。財源等課題もあるが次年度も出産育児支援として実施する方向。

問 農業用マルチは環境に負荷が掛かる。処分の手間、費用も大変である。生分解性マルチにすれば解決だが価格が高い。補助を出しても変えて行くのが良いと考える。

答 どの位費用が掛かるか算定したい。環境面からも県や国に要望して行く必要がある。

問 農地も山林も境界が分からなくなる。早く地籍調査を。答 総合的に検討して行くが経費と人材の問題がある。

コロナ禍の飯山市における事業の検証について



岸田真紀議員

問 新型コロナウイルス感染症のために、落ち込んだ市内での消費喚起を図るため、「ささえあい飯山プレミアム商品券」の利用状況と市内商店の反応は。

答 8月に額面で3億5千万円を販売した商品券の利用状況は11月17日時点で全体の7割、2億5千万円程が使用された。事業所はアンケートによると効果があつたと答えている。

飯山城址公園の整備事業

問 来年度から中期の整備事業が始まると聞く。公園内にある食堂を改修したがどんな改修でどんな目的の改修か。

答 お休み処の屋内を中心に改修をした。飯山城の歴史を紹介するスペースや軽食を提供できる調理、接客スペースを改修した。

高齢者の運転事故防止

問 近年高齢者ペダル踏み間違い事故が多発しているが近年の免許証の返納の状況は。

答 65歳以上の免許証所有状況は4954人（令和元年12月時点、返納人数は令和元年1月から12月で1077人、令和2年1月から9月までで59人）

新たな学校づくり地元高校の魅力強化に支援を



松本淳一議員

問 生徒の数が減って、市は7校の小学校を南北2校への統合を1月の会議で決定する。11月に学校区ごとの説明会を開いたが、市民への説明は十分と考えているか。

答 統合はH29課題検討委員会R1適正規模検討委員会で検討を重ねた結論。その都度、市民の理解を得てきたと考えている。必要な場合は、今後丁寧な説明をしていく。

南部の小学校を飯山小の場所にした理由は何か。

答 飯山市にとって歴史・伝統文化の中心を担ってきた場所を設置にふさわしい、水害は対策が進むので対応できる。

問 ふるさと寄付金は5年間で約11億5千万円が貯蓄でき、寄付金を新しい学校づくりにどう生かしていくのか。

答 寄付金は寄付目的を生かして使ってきた。今後同様で教育目的にも活用していく。

問 農林高校生の6割は市内から通学しているが、通学に補助はできるか。

答 通学支援は岳北地域高校の魅力づくり研究会でも取り上げており今後の検討となる。

コロナウイルス対策に万全を



上松永林議員

◆コロナウイルス対策

問 感染症対策と経済政策は。感染症は県の方針のもと市報・防災無線等で啓発を行う。市民の取り組みが功を奏している。経済対策ではプレミアム商品券、事業継続支援給付金、運転資金融資等を実施。

問 市事業継続支援給付金事業の説明を。

答 コロナウイルスの影響で売上が昨年同月比で半減した事業者に10万円を給付する。

問 農家はどうか。

答 コロナウイルスの影響による売上減少が前提。

問 重要施策はコロナ終息後の地域経済を支える企業の存続。これからの経済対策は。

答 企業の事業継続が大事。関係者の要望を聞き進めたい。

◆水道事業

問 漏水調査の結果と修理は。

答 漏水箇所は12カ所。発見の都度、直ちに修繕工事を進めている。

◆ふるさと納税

問 納税者には市のファンになつてもらいたい。市民との交流を。

答 先進地の事例を参考にしたい。実現を目指したい。

コロナの影響による市税の減免について



水野正彦議員

問 中小企業庁のホームページに、コロナ感染症によって売上が減少した事業者に対し、固定資産税を減免対応すると掲載されているが、市の対応について。

答 令和3年度償却資産申告書に減免の申請書を同封し送付する。減免措置は令和3年度課税分に限定されており、令和4年度については現在のところ減免の予定はない。

国保税減免対応について

問 国保税減免対応について。国の指針に従い新型コロナウイルスの影響により収入が減少した被保険者に係る飯山市国民健康保険税の減免に関する要綱を制定し、実施している。

答 インターハイを迎えるにあたり市長の思いを。

問 第70回の記念すべき節目の大会を本市で開催できることは大変光栄に感じている。ワインチ付きの圧雪車の購入をはじめ、会場施設の整備費用競技運営に関しても万全の体制で準備を進めている。選手役員の皆様方の健康と安全を守るために全力で努めてまいりたいと考えている。

移住・定住対策について



山崎一郎議員

問 毎年移住者用住宅を建設していることが成果となっているが、お試しの間だけの移住で、定住は他の市町村とならない対策が重要と思うが。

答 移住者が市内に定住していくには一つのポイントがあると思う。一つは住宅で、この面については今までかなり充実した支援をして来たが、もう一つの仕事の面については、これから支援を強化し移住者が飯山で安心して生活が出来るようにサポートしたい。

過日示された「まちづくり基本計画」の素案では、15年後の人口を13870人と推計している。いま建設している住宅負担が減少する人口で支える現実にははしないか。

答 移住者が早く市内に定住されるよう支援し、移住住宅の回転を良くするよう施策の方向転換を提言する。

問 移住者住宅の建設は有利な起債等を活用して、将来負担とならないようしっかり算定している。また、移住者には市内に定住され、住宅を取得していただくような方向に力を入れて参りたい。

飯山市議会と意見交換をしてみませんか

飯山市議会では、市民の皆さんに直接意見をお伺いする場として、各種団体の皆様と意見交換会を開催いたします。

日頃感じている市政への要望・意見・提案また議会への事などをお聞かせください。

《対象》

地区区長会、区、および市内に所在する団体（10人以上で構成される団体に限る）

《テーマ》

希望するテーマで行う
 ・意見交換会の結果等は議会だよりなどで公表します。
 ・新型コロナウイルス感染症対策に十分配慮して行います。

《申込方法》

・意見交換会開催申込書の提出が必要
 要です。

申込書は飯山市議会ホームページからダウンロードしていただくか、議会事務局に用意してあります。

※ご不明な点は議会事務局にお問い合わせてください。

タブレット端末活用研修会

議会活性化特別委員会では1月18日「飯山市議会タブレット端末活用研修会」をリモートにより行いました。年4回行われる定例会の他、各会議などの資料は年間通じてかなりの枚数となります。端末事業者からさまざまな導入事例並びに活用方法の説明がされました。

導入により資料作成のコスト削減が図られる他、災害時の連絡や情報共有などにも活用が可能であり、今後とも議会として導入に向けて研究を進めていきたいと思っております。

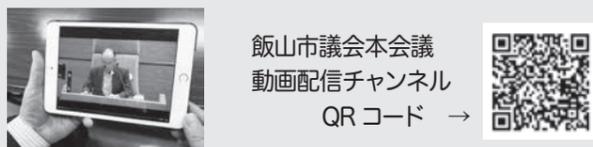


飯山市議会本会議の動画配信開始

— 令和3年3月定例会より —

飯山市議会基本条例に定める議会活動に関する情報公開及び議会広報の充実を図るため、飯山市議会本会議（一般質問等）をYouTubeにより動画配信を行います。

- 動画配信の内容
議会本会議（招集日、一般質問、最終日）の様式
- 配信期間
開始 定例会（臨時会）終了後、1週間以内
終了 3年後の同月定例会閉会日（臨時会の場合は3年を経過した日）
- 受信方法
○飯山市議会ホームページ本会議動画配信ページ
○YouTube「飯山市議会」チャンネル



※3月26日配信開始予定。チャンネル登録をお願いします！

本会議を傍聴する方へお願い
 （新型コロナウイルス感染拡大防止について）

本会議については「iネット飯山」で放送しております。本会議を傍聴する方は、席の間隔をあけてお座りいただき、必ずマスクを着用ください。（入場者数の制限あり）

令和3年3月定例会
 会期日程（予定）

- ◆招集・議案上程 2月24日水
- ◆一般質問 3月4日木
- ◆各常任委員会審査 3月8日月
- ◆委員長報告・採決 3月16日火
- ◆委員報告 3月19日金